

《テーマ》Impact of U.S. Industry, Changes due to EU integration

アメリカの産業は人々の生活にどのような影響を与えているだろうか。

EU の統合によって、ヨーロッパの人々の生活文化はどのように変化しているだろうか。

《 アメリカの知識産業と資源 》

・(1) =ICT…携帯やパソコンの基本ソフトウェア(OS)のほとんどは
アメリカで開発されている。

・(2) の発達…研究開発によって生み出された新たな知識や技術
知識の組み合わせにより新分野を開拓する

→アメリカの経済をけん引。世界に大きな影響力を持つ！

《 産業構造の変化とサンベルトの台頭 》

年代	出来事
20世紀 前半	北東部で鉱産資源と水運を活かした重工業が発展 ★ピッツバーグ…鉱工業 ★デトロイト…(3) 方式による 自動車産業
第二次 世界大戦後	日本やヨーロッパの工業発展により、国際競争力の低下 ★北東部の工業地域→工場閉鎖・失業者増加により、 (4) と呼ばれるようになった
1970年代 以降	北緯37度以南の(5) に 新しい工業地域が出来る 温暖な気候、安価な土地・労働力 航空宇宙産業・ICT産業等の先端技術産業が発達 ★(6) …名門大学を研究開発 の拠点に →ICT企業が集中する地域となる



↑アメリカ合衆国の主な鉱工業
帝国書院 地総 703『高等学校 新地理総合』
p.127⑤

《 世界の食卓に影響を与えるアメリカの農業 》

- ・(1) = 農業関連産業。農業に関する多岐にわたる事業を展開している。
- (2) …世界の穀物の生産・加工・流通・販売に関わる。
アグリビジネスの中でも、世界の穀物需給に大きな影響力を持つ。

・アメリカ農業の特徴

★規模が(大きい ・ 小さい)が、農業従事者は(多い ・ 少ない)。←○で囲もう！

・大型農業機械、リモートセンシングの導入 + (3) 作物を多用

→生産性の高い農業を実現！

・(4) = 大規模な飼育場→生産された牛肉は日本にも輸出

↓アメリカ合衆国の農業地域
帝国書院 地総 703『高等学校
新地理総合』p. 129⑥

《 適地適作の農業と大規模農業の課題 》

・(5) …自然環境に適した農産物を栽培すること

①降水量の少ない西側→放牧や灌漑農業 西経100度付近で二分

②降水量の多い東側 →畑作

③五大湖周辺…酪農

④(6) …とうもろこしや大豆などの飼料作物と

家畜の飼育を組み合わせた(7) 農業

⑤(7) …センターピボット方式による灌漑

飼料作物の栽培→肉牛の大産地に！

6西海岸…地中海性気候を利用したかんきつ類や野菜の栽培



《 EU の統合と人々の生活 》

・(1))協定…出入国審査の廃止を取り決め、

EU加盟の22 かと非加盟国4 かとが実施。

単一通貨(2) …国を超えた消費活動や給与支給などで両替不要に。

・キリスト教に根差した文化

(3))教はヨーロッパの日常生活、文化等に大きな影響を及ぼしている。

(4) …ゲルマン語派

(5) …ラテン語派

(6) …スラブ語派



↑EU加盟国の拡大
帝国書院 地総 703
『高等学校 新地理総合』
p. 138③

・EU統合への歩み

年代	出来事
1952年	ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)発足
1993年	(7) = EU発足
2004年以降	対立関係にあった東ヨーロッパ諸国も加盟
2020年現在	加盟国は27か国に



↑ヨーロッパの農業
帝国書院 地総 703『高等学校 新地理総合』p. 140③

《 EU統合による農業への影響 》

・地域で異なる食文化と農業

- ①ドイツなどの北西ヨーロッパ…(8) 農業が発達。西岸海洋性気候で年間を通して降水あり。
- ②デンマーク・オランダなどの北海沿岸…(9) が発達。比較的冷涼で穀物栽培に適さないため。
- ③イタリアなどの地中海沿岸…(10) 農業が発達。
乾燥する夏に強い果樹、冬の雨を活かした小麦栽培。

・EU共通農業政策と課題

ヨーロッパの農業は生産コストに差がある

生産性が高い…オランダの(11) 農業、フランスの穀物栽培

生産性が低い…南ヨーロッパ諸国の果樹栽培

そこでヨーロッパは…(12) を実施！

EU が統一価格を設定し買い支える

域外からの輸入農産物に関税をかける

生産性の低い国の農業が保護！

生産性の高い国の農業が発展！

問題点として…

農産物の生産過剰

多額の補助金による財政負担

《 EU統合による工業や社会への影響 》

- ・EU統合により、航空機産業が発展。

エアバス社はフランス・イギリス・ドイツ・スペインに生産拠点を置く。(13

)が行われる。

- ・移り変わる工業地域

年代	出来事
第二次世界大戦後	西ヨーロッパは(14)地帯を中心に経済成長
1960年代	石炭から石油へのエネルギー転換
現在	イギリス南部・ドイツ西部・フランス東部・イタリア北部が中心 (15)と呼ばれる地帯



↑ヨーロッパ中心部の工業
帝国書院 地総 703『高等学校
校 新地理総合』p. 142④

- ・国境を越える労働力

1960年代の高度経済成長期…労働力不足を補うため、(16)労働者を受け入れ。

東ヨーロッパ諸国が EU に加盟→EU域内の経済格差が課題となる。

★西ヨーロッパ…東ヨーロッパへ工場移転。しかし(17)を招く。

★東ヨーロッパ…西ヨーロッパへの出稼ぎ。しかし西ヨーロッパ諸国の社会保障費負担増。

→2020年 イギリス、EU を離脱。

【まとめ】アメリカ、ヨーロッパの産業は、人々の生活にどのような影響をあたえていますか？

アメリカ

ヨーロッパ